



直方の教育

教育委員会だより

お問い合わせ▽学校教育課 TEL25-23323

小中学生の体力・運動能力の状況

(令和元年度調査報告から)

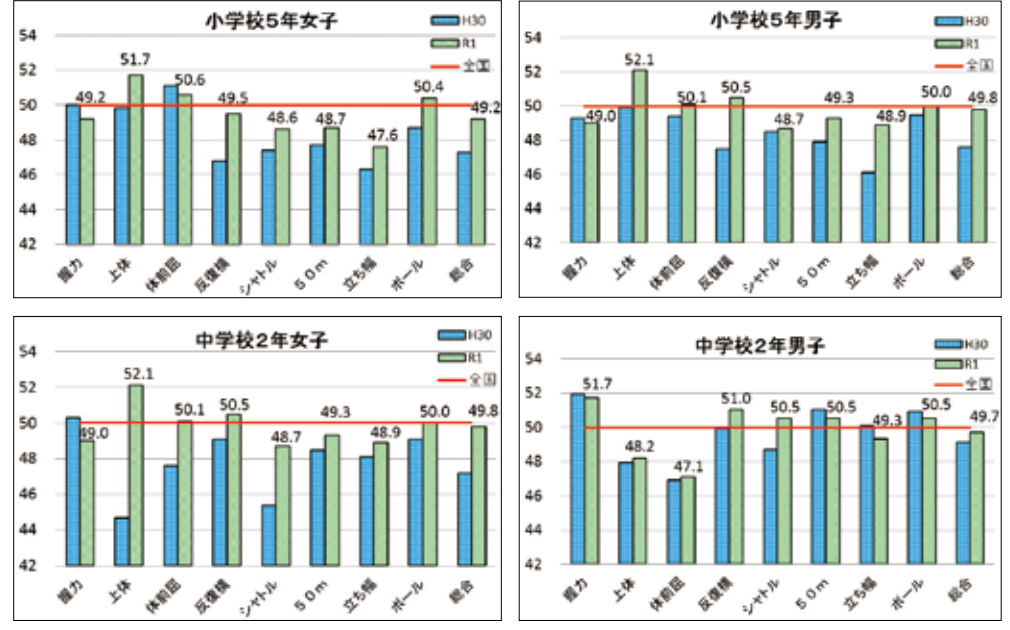
学校教育課

本年度も、文部科学省より小学校5年生と中学校2年生男女の体力・運動能力の調査結果が発表されました。この発表に基づき、全国と比較した、本市の児童生徒の状況を報告します。

調査項目は(表1)のとおりで、下のグラフは、各調査記録の全国の平均値を「50」とし、本市の記録を得点化してグラフにしたものです。

本市の状況は、平成30年度と比較すると、小学校においては男女ともに立ち幅とびやソフトボール投げ等、半数以上の種目で1〜3ポイント上昇しています。また、中学校では、男子は4種目でポイントが低下しましたが、女子は握力以外のすべての種目で1〜2ポイント上昇しました。

本年度は、新型コロナウイルス感染症の影響から、体育科の授業や体力向上の取組が制限されていますが、教育委員会では、体力・運動能力の向上を目指し、各学校と連携・協力しながら取組を推進して参ります。



(表1) 調査項目
握力
上体起こし
長座体前屈
反復横とび
シャトルラン
50m走
立ち幅とび
ソフトボール投げ(小)
ハンドボール投げ(中)

新教育委員の挨拶



ないう せいじ
内藤 誠治

<職歴> 内藤鍛造所 代表取締役社長
<任期> R2.7.1 ~ R5.12.14

本年7月1日に教育委員を拝命いたしました。

微力ではございますが、誠心誠意務めてまいりますと存じます。

12年前に故郷直方に戻り、家業である鉄工所を引き継いで、モノづくりに精進しております。また、中学生と高校生の2児の父でもあります。

私は、直方法人会という団体に所属し、小・中学校や高校での出張税金教室の講師を10年程させていただきました。その活動を通じて、子ども達が自分達や地域の将来に希望をもてる環境づくりが、私達の重要な使命でもあると考えられるようになりました。

現在は、新型コロナウイルスの感染拡大という未曾有の課題に直面しております。そんな中でも、子ども達が夢を持ち元気よくのびのびと成長していく為のお役に立てればと存じますので、どうぞ宜しくお願い申し上げます。

全小中学校の普通教室へ エアコン設置完了

教育総務課

市内全中学校に続き、令和元年度、市内11の小学校の普通教室と、4中学校の音楽室にエアコンを設置しました。

これで、全ての小中学校の普通教室のエアコン設置が完了しました。

しかしながら、新型コロナウイルスの影響により、窓を開けて換気をしながら授業を行わなくてはなりません。

そのような中でも、児童生徒が授業に集中できる快適な教育環境となるよう温度設定に気を配りながらエアコンを活用しています。



国指定史跡 筑豊炭田遺跡群 の保存活用計画策定

文化・スポーツ推進課

筑豊地域には、かつて我が国最大の炭坑であった筑豊炭田があります。筑豊炭田遺跡群は、直方市の旧筑豊石炭鉱業組合直方会議所および救護練習所模擬坑道、田川市の三井田川鉱業所伊田坑跡、飯塚市の目尾炭坑跡の3箇所で構成され、平成30年10月15日に国史跡に指定されました。本市ではじめての国指定史跡です。

教育委員会では、この貴重な史跡を確実に次世代へと継承し、幅広く活用することを目的に、令和元年度に「保存活用計画」を策定しました。旧筑豊石炭鉱業組合直方会議所は、みなさんが親しまれている石炭記念館本館のことです。この建物は、明治43年に建てられ、当時、炭鉱王と呼ばれた経営者たちが集まり、石炭の運搬など、共通する利害についてさまざま

な論議を行った場所です。また、会議所の背後にある、救護練習所模擬坑道は、大半が大正9年につくられた、炭鉱災害に備える国内最古の本格的な救護練習施設です。

「保存活用計画」では、旧筑豊石炭鉱業組合直方会議所および救護練習所模擬坑道の史跡としての価値を明らかにし、現状と課題を整理した上で、「我が国の石炭産業をリードした筑豊石炭鉱業組合の物語を顕在化し、エネルギー産業を学べる場として旧筑豊石炭鉱業組合直方会議所と救護練習所模擬坑道を守り、活かしていく」という方向性を打ち出しました。そして、保存活用方針、現状変更の取扱基準、整備の方針などを定めています。

今後、直方市では、この「保存活用計画」を元に、さまざまな取り組みを展開していく予定です。皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。



救護練習所模擬坑道



旧筑豊石炭鉱業組合直方会議所
(石炭記念館本館)